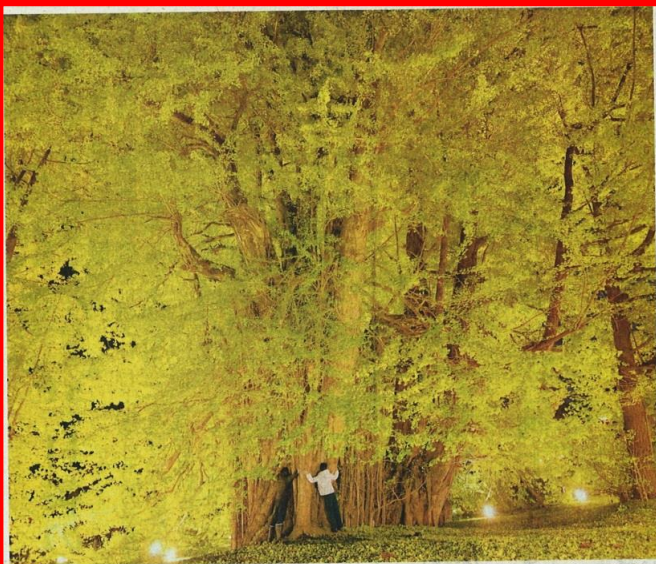


高特新聞第1号発行(by広報委員会)

広報委員会で、委員会活動の中で少しずつ準備をしてきた「高特新聞」の第1号が、12月9日(月)に完成しました。今回は、学校行事の様子を伝えています。歩く会や修学旅行(3年生)、スポーツクラスマッチや校内実習について、いつ、どこで、何をなど、NIE講習会で学習した5W1Hを意識した説明文と写真を自分たちでレイアウトを考えて作成していました。生徒会の掲示板に掲示してありますので、是非、読んでみてください。年明けに第2号も発行予定です。お楽しみに！



気になる記事コーナー16



光り輝く大イチョウ 青森・深浦

冷え込みが日ごとに厳しさを増す青森県深浦町で、ライトアップされた樹齢約1000年の国天然記念物「北金ケ沢の大イチョウ」が見ごろを迎えている一写真。

高さがビル10階に相当する約31mあり、幹回りは約22mと全国のイチョウの中でも最大級。黄金色に輝く巨木の

下で、訪れた観光客らが夢中になって写真を撮る姿などが見られた。

町観光課の担当者は「来月1日までのライトアップ期間中は見ごろが続く見込み。見事な『ビッグイエロー』をぜひ楽しみに来てほしい」と呼びかけていた。【写真・デジタルプラス 写真特集と動画 文 北山夏帆】

「水高NIE便り」の第9号でも、写真は文字以上に伝える力があると紹介しましたが、今回も写真の記事です。

新聞には、季節ごとに風景を写真で伝える記事があります。田植えや桜、鮎釣り解禁にひまわり畑、今回の記事の様な紅葉や初雪の便りなど、四季のある日本らしい美しい風景を写真で切り取ります。茨城県だと常陸海浜公園のネモフィラやコキア、大子の袋田の滝の絶景がよく取り上げられます。

今回の記事は、青森県深浦町にある樹齢約1000年の大イチョウ。ライトアップされてとても幻想的です。高さがビル10階に相当する約31mもあり、太さも幹回りが約22mあるそうです。写真の中央に写る2人の観光客の大きさと比較しても大イチョウの大きさがわかるかと思います。

写真で季節を感じるのも新聞の楽しみ方の1つです。皆さんも是非、試してみては？